

プロは超特急、われわれはジョギング

私たちが楽しむテニスと憧れるプロのテニスとの違いはあまりに大きなものがあります。

立場が違えば当たり前ですから、それはそれで楽しみましょう。プロは少しの才能と強い肉体、強い心を我々の何十倍の努力をして育て、相手とも、自分とも周りとも戦っています。

私達は自分の健康と喜びのために楽しみましょう。

びわこ選手権

- 日時 : 平成26年12月11日(木)
9時半スタート
- 種目 : 女子ダブルス16ペア 募集
トーナメント。
コンソレあり
1回戦、決勝戦、コンソレ決勝は
2タイブレークセット
(ファウルセット10pタイブレーク)
他は、8ゲーム先取
- 場所 : 県立彦根総合運動公園
- 参加料 : 4,600円
雨天中止につき当日集めます
- その他 : 8ペア以上のエントリーにて決行
その場合、多少の変更はあります。
- 賞 : 商品券
参加賞あり
- 申し込み : メールまたはFAXにて
受け付けます

向って来るボールは近いけれど

追いかけるボールは遠い

テニスというスポーツはネットをはさんでボールを打ち合います。ですからほとんどのボールは自分の方に来るわけです。いかに相手を走らせてポイントを取るかというゲームですから、できるだけ深く、相手の嫌な所にボールを送るようにすれば、自身はそれ程走らなくてもよい、ということになります。

自分の方に来たボールは待っていても打てるのだからじっと待つ。そう思っていないですか？

向かってくるボールを打つにはこちらの動きがあればより力が加わります。わずかでも前に行く力が入ればいいのです。ですからただ待つのではなくほんの少し。進むようにします。

大切なのはボールと自身との距離です。それはテニスをしていれば皆さんつかんでいる感覚ですね。

待ってさえいれば簡単に取れるようなボール、その易しいボールを動いて取るようにしませんか。

ゆっくりとスローモーションのような動きをつけながら距離をしっかりと見極めます。

「上手な人はあまり動いていないように見えるのにスムーズできれいに感じるのはなぜですか？」とよく聞かれます。

それは簡単、むつかしいに関係なく大切にボールを扱っているにすぎないのです。

ジョギングより遅いかもしれません。気づかれない程の動きがあることを知ってください。

よくコーチなどから手打ちになってるよ！とか足が動いてない！とか言われたことはありませんか？

走ったり、猛ダッシュしなければならぬボールの方がきれいに打てる場合があります。それは動きがあるかないかの違いでボールのパワーが違うのです。

易しい簡単なボールを確実にしてミス無くすこと。頑張ってみてください。

追いかける必要のない遠いボールを少しでも減らすにはどうすればいいか？

また機会があればお話したいと思います。